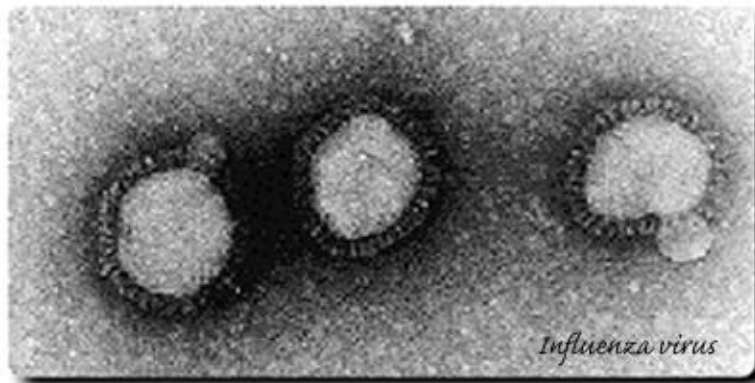


地域保健推進特別事業

(平成11年度)

『精神病院で発生したインフルエンザ様疾患 集団発生の疫学調査』

～健康危機管理における保健所の役割～



三重県桑名保健所
(北勢県民局桑名保健福祉部)

1999.08.23

1998/99のインフルエンザシーズンは、施設の集団感染による死亡があいついでマスコミ報道されました。平成11年2月に、私たちも管内の精神病院における十数名の死亡事例の疫学調査を経験しました。発生した施設が精神病院であったため、患者の人権侵害の視点でとりあげるマスコミもありました。私たちは、それですべてが説明できないことはわかりましたが、多くの死亡者が発生した原因を早期に説得力を持って明らかにすることができませんでした。

インフルエンザは突然の高熱で発症し、咳嗽や鼻汁などの呼吸器症状の他に全身倦怠感、頭痛、筋肉痛などの全身症状を伴うことから、いわゆる普通感冒とは区別されています。確定診断は、気道分泌物からのウイルスの分離、および、急性期と回復期の2ポイントにおけるインフルエンザウイルスに対する抗体価上昇の証明とされています。また、A型に関しては迅速の診断キットが市販されるようになりました（1999年1月より）。これらの中では、抗体価の測定は保険適用になっていますが、臨床の場では、発病の1～2週間後となる回復期の抗体価測定は現実的ではありません。そのため、我が国ではインフルエンザの診断は臨床所見中心となっており、客観的な検査所見にもとづくインフルエンザ発病者の確定は困難な状況にあります。

しかし、今回、インフルエンザの施設内流行で十数名の死亡者が発生したという事実は重く、できるかぎりの原因究明を試みることは私たちの責務であると考え、引き続いて多方面からの分析を行ってきました。その結果、病院における超過死亡はインフルエンザ感染、耐性菌による院内感染、その細菌が産生する毒素によるトキシックショック症候群、の三者が相互に絡み合ったための不幸な結果ではないかと考えました。学問的にはデータ不足の感は否めず推測の部分が多くなっておりませんが、医師・看護婦からの聴き取りや文献的考察も合わせ総合的に判断しました。

また、調査結果から今回の事例は、ある特別な精神病院だから起こったのではなく、全国の精神病院や老人ホーム、老人病院、障害者施設など長期に虚弱者等を収容する施設では起こりえると考えられました。これらは、その施設の性格・目的は異なっても入所者にとっては生活の場に近く、長期的な入所者が多くなっています。現在、我が国では、介護保険制度の導入にむけて高齢者の施設整備が急ピッチで進んでいます。今後は、施設内感染防止対策は、病院以外の施設においても、その必要性は高まってくるように思われました。

三重県桑名保健所
長坂 裕二

目次

はじめに・・・	1
調査の記録	4
多度病院の概要	19
(1) 多度病院の沿革	19
(2) 施設の構造と患者の処遇	21
(3) 入院患者の日常	22
(4) 病院の写真など	23
疫学調査の概要	27
管内のインフルエンザの流行状況	30
(1) 結核・感染症サーベイランス	30
(2) 伝染病流行予測調査事業	33
(3) 救急医療体制からみた流行状況	34
集団感染の原因病原微生物検索	37
(1) 病院内のインフルエンザ関連の検査結果	37
(2) 病院内の細菌検査結果	39
(3) 管内（病院外）の検査結果	39
感染経路の調査	41
(1) 女子閉鎖病棟 2 階の散発発生 （院内へのウイルスの侵入）	43
(2) その他の病棟の感染経路	45
・ 男子開放病棟	
・ 男子閉鎖病棟 1 階	
・ 男子閉鎖病棟 2 階	
・ 女子閉鎖病棟 1 階	

患者の感受性調査	50
(1) 患者収容の特徴	50
(2) 死亡者の分析	53
(3) M R S A 保菌検索	56
.考察と今後の対応	57
多数の死亡者が発生した原因について	57
(1) 入院患者の高齢化、合併疾患	57
(2) 患者の精神疾患の影響	57
(3) 長期入院による免疫力低下の可能性	58
(4) インフルエンザ感染に対する細菌の関与	59
(5) トキシックショック症候群	62
(6) 病院における感染症危機管理体制	64
今後の対応について	67
.おわりに・・・	71

表紙のインフルエンザウイルスの写真は、C D C（米国疾病対策センター）のホームページ（<http://www.cdc.gov/ncidod/diseases/flu/fluinfo.htm>）から引用した。また、裏表紙の黄色ブドウ球菌の電子顕微鏡像は、戸田新細菌学（南山堂）より引用した。

(資料編)

1.参考文献、資料など	1
2.トキシックショック症候群の診断基準	5
From: CDC. Case definitions for Infectious Conditions Under Public Health Surveillance. MMWR 1997;46(No.RR-10):39-40 (http://www.cdc.gov/epo/dphsi/casedef/tss97.htm)	
3.患者、職員の調査データ	6
4.医療保護入院患者の退院届け	18
5.M R S Aの現状と対策	19
平松啓一 (順天堂大学医学部 細菌学教室) (日本細菌学会 http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsb/mrsa.html)	
6.新聞記事	24